

日本手話の 非手指副詞とエコー (試論)

高嶋 由布子

日本学術振興会特別研究員SPD
東京学芸大学国際教育センター

Yufuko.Takashima@gmail.com

@rhetorico



Feb.04.2014

TwifULL SLiM #24 @Hokudai

1

Background

- 高嶋 由布子
 - 京都大学人間・環境学研究科 博士号取得(2013年)
 - 専門: 認知言語学
 - 博士論文: 日本語の知覚表現の分析

[現在]

- 日本学術振興会特別研究員SPD
 - 「五感の言語表現の認知・心理言語学的研究」
→ 日本語と日本手話を比べる研究を進行中
- 東京学芸大学 国際教育センター
 - おもにバイリンガルの子どもの教育について考える場所
- 日本手話学習歴: 3年
 - 震災の時に、にわか社会活動家認定されるが手話習得前



Feb.04.2014

TwifULL SLiM #24 @Hokudai

3

言語研究における 手話研究の意義

Feb.04.2014

TwifULL SLiM #24 @Hokudai

5

もくじ

1. 概要
2. 言語研究における手話研究
3. 日本手話とは
4. 非手指要素
5. 触覚表現の採集実験
6. 結果
7. 考察



Feb.04.2014

TwifULL SLiM #24 @Hokudai

2

概要

- 言語研究における手話研究の意義
- 手話研究の方法と実践
- 「同時」に表される要素の分析

Feb.04.2014

TwifULL SLiM #24 @Hokudai

4

言語研究における 手話研究の意義とは？

- メディアの違い
- 言語観の転換

Feb.04.2014

TwifULL SLiM #24 @Hokudai

6

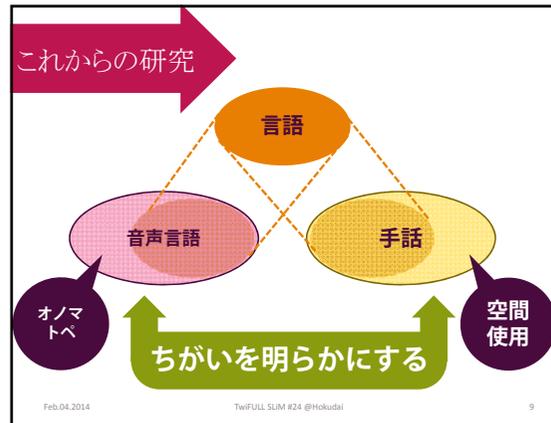
Why?

なぜ、言語は音声メディアなのか

How?

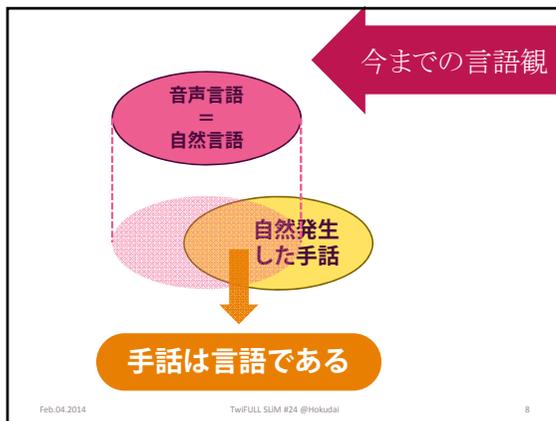
音声メディアであることは
言語にどのように影響するのか

Feb.04.2014 TwiFULL SLiM #24 @Hokudai 7



日本手話とは

Feb.04.2014 TwiFULL SLiM #24 @Hokudai 11



解決したい問題

- 音声の代わりに空間を使う
→同時に表される要素と文法構造／情報構造
- 類像性
→空間を表すとき、図像的に
→恣意性との「相互乗り入れ」
- 話者の少なさと「規範」のなさ
→類像的な表現の多様性

Feb.04.2014 TwiFULL SLiM #24 @Hokudai 10

日本手話

Nihon Syuwa/Japanese Sign Language

- 推定話者数 6万人
 - ネイティブ
 - CODA (Children of Deaf Adults)
 - 準ネイティブ
- 先天的なろう者 1000人に1人程度
- 聴覚障害者 35万人 (日本)

Feb.04.2014 TwiFULL SLiM #24 @Hokudai 12

日本手話と日本語対応手話

日本手話

- 自然言語
- 「ろう者」が聾学校やデフファミリーで身につける

日本語対応手話

- 日本語を手指で表したもの（手指日本語）
- 主に日本語を母語として習得した後に使われる
- 難聴者のコミュニケーション
- 手話通訳

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

13

日本手話の基礎知識

• 聾学校

- 方言は聾学校ごと（聾学校は約100校、減少中）
- 聾学校ごとに教育方針が異なる

• メディア

- 1995年から「NHK手話ニュース」で日本手話ネイティブのキャスターが採用される
- 「NHKみんなの手話」は「難聴者向け」

• 手話通訳士

- 1989年より手話通訳技能認定試験(厚労省認定手話通訳士試験)
- 手話通訳士は3,000人程度
 - 手話通訳者全国统一試験（民間資格）

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

15

日本手話の研究方法

• ネイティブの直観／インタビュー

- 日本語とのバイリンガルである
- 調査者が圧倒的マジョリティ側の人間
- 調査者の言語力に左右される

• 実験

- お題を出して談話をとる
- Elicitation task
- アニメーション再生 など

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

17

日本手話の起源

1878(明治11)年

京都盲啞院 設立→1880年 東京盲啞学校

- ろう児が集められることで自然発生したと考えられている
- ※それ以前のごときはよくわかっていない
- Cf. ニカラグア手話(1979~)/Village sign

• 日本語と異なる独自の文法

- 手話は世界共通でない
 - 台湾手話、韓国手話とは姉妹関係
 - 音声言語と異なる姉妹関係が散見される

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

14

Book guide

- 岡典栄・赤堀仁美. 2011
『日本手話のしくみ』大修館書店.
- 木村晴美. 2011
『日本手話と日本語対応手話(手指日本語)一
間にある「深い谷」』生活書院.
- 市田泰弘. 2005
「手話の言語学」『月刊言語』2005年1月号
～12月号. 大修館書店.
- オリバー・サックス『手話の世界へ』
(佐野正信 訳 1996年 晶文社)



Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

16

手話の音韻論と 非手指要素

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

18

手話の音韻論

- 音声言語と異なり
調音器官が複数ある

- 利き手・非利き手
- 非手指要素
 - 顔 (眉、目、鼻のしわ、口、顎)
 - 上体 (肩、腰) etc

- 言語要素 vs ジェスチャー

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

19

同時性 vs 線形性

- Simultaneous > Sequential

- マウジング
 - 音声言語からの借用 (eg. 〈学校〉 〈勉強〉)
- マウスジェスチャー
 - 語の一部をなす (弁別的 eg. 〈得意 / ?〉)
 - 副詞 (eg. 〈一生懸命〉)
 - エコー (意味論的に空)

→ある語の調音において何がメインか見極める必要

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

21

エコーとは？

- 調音器官が複数あることによる現象
- 手の動きと口の動きがリンク

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

23

手話の音韻論

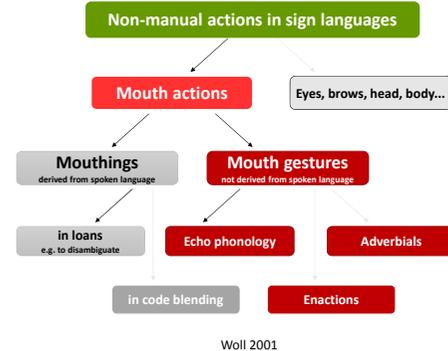
- 語 = 手の形、位置、動き、軌跡
 - 数詞・指文字以外の手形はバリエーションが少ない
 - 名詞の場合、日本語からの借用マウジングがつくことがある
 - 付随要素と考えられている
 - 高齢者層はあまり使わないが若年層になるにつれ、マウジングは増える傾向があるらしい
 - 動詞でも簡単なものにはマウジングがつくことも

- 語が機能を果たすために必要な「口型」もある
 - 文レベルに必要な眉や目の動き (疑問文など)

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

20



Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

22

恣意性 vs 有縁性

- 離散的な要素と、表現内で図像性を利用するとき段階性をもたせることができる要素がある
- 特に空間表現は図像性が高くなる
- 空間 = 視覚? → 触覚ではどうか

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

24

手話の触覚表現

- 「触る」インタラクション
- SASS (Size and Shape Specifiers)
 - 形をトレースする
- 最も「手指」に近い刺激

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

25

表面を表すSASS (ASL)

Supalla(1986)

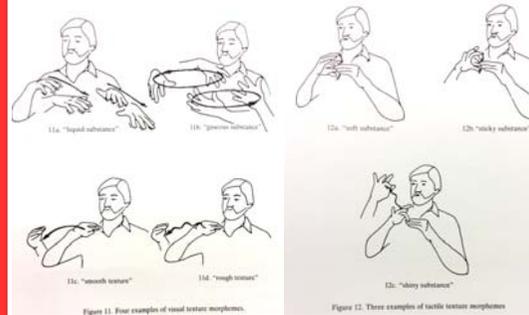


Figure 11. Four examples of visual texture morphemes.

Figure 12. Three examples of tactile texture morphemes.

日本手話の触覚表現の採集

- 日本手話話者
 - ネイティブ、準ネイティブ
- 12名
 - 30~60歳
 - 男女6名ずつ
- 26の刺激
 - NTT基礎コミュニケーション研究所 渡邊淳司さんによる
 - 日本語のオノマトペに対応した50の刺激より
 - 自由記述×26
 - 対の比較
- 実験者も日本手話話者→顔見知り

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

29

先行研究：SASS (Size and Shape Specifiers)

- Supalla(1986)
 - static SASS
 - tracing SASS
 - Basic features: long, round
 - Secondary features: wide, thin, flexible

類像的な要素としてClassifier表現があるがSASSは名詞類としてほかのものと一緒に線を画したものと考えられている

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

26

触覚表現の採集

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

28

日本手話の触覚表現の採集



Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

30

結果

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

31

考察

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

49

エコー

- 手の動きと口の動きが連動する
- 程度副詞でないものが散見される

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

51

結果

- …集計中
 - 名詞（ゴム、レゴ、人工芝）
 - 形容詞（硬い、柔らかい）
- 形のSASS
 - 表面の形をなぞるSASS
 - CLを含むSASS
 - 触る手と触られるモノ
- 表面の質のSASS+NMM
- 「押す」+NMM（弾力性）
- 「滑る」
- 「くつつく」とリズム

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

32

手指動作とNMMの役割とは

- 動作に伴うNMMが主要部的なことも
 - 押すと「やわらかい」を言いたいときに「やわらかい」は非手指動作
- NMMはただのスケールというわけではない
 - 強意の「い」は抵抗力の強さには合う
 - 一方で「とても滑る」ときは〈スムーズ〉にともなう「う」

Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

50

図像的表現

- ものの形とその動きをCLで表す
- 軟らかさ＝押したときの指の動き
- 「ブツブツ」＝手の甲に点を置く
- 含まれているもの＝ほおの動き

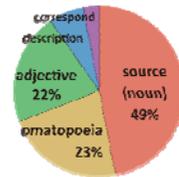
Feb.04.2014

TwifULL SLIM #24 @Hokudai

52

日本語とくらべる

- オノマトペ 23% (Takashima 2013)
- 日本手話の場合 SASSの割合が多そう



Feb.04.2014

TwiFULL SUM #24 @Hokudai

53

参考文献

- Lewin, Donna and Adam Schembri. 2013. "Mouth gestures in British Sign Language: A case study of tongue protrusion in BSL narratives." In Herrmann, A. and Steinbach, M. (eds.) *Nonmanuals in Sign Language*. John Benjamins Publishing Company.
- Spalla, Ted. 1986. "The classifier system in American Sign Language." In Colette Craig (ed.) *Noun classes and categorization*. John Benjamins Publishing Company.
- Woll, Bencie. 2009. "Do Mouths Sign? Do Hands Speak?: Echo phonology as a window on language genesis." In Botha, R. and Swart, H. (eds.), *Language Evolution: The view from restricted linguistic systems*. LOT.
- Zwitzerlood, Inge. 2012. "Classifiers." In Pfau, R., Steinbach, M. and Woll, B. (eds.) *Sign Language: An International Handbook*. De Gruyter Mouton.

Feb.04.2014

TwiFULL SUM #24 @Hokudai

54